

**令和元年度進行管理・評価シート**  
**国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）**  
（最終変更 令和元年5月31日）

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携	.....	2
2 景観計画策定に向けた取り組み	.....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	.....	4
2 阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業	.....	5
3 阿津賀志山防塁歴史公園整備事業	.....	6
4 無形民俗文化財活動支援事業	.....	7
5 国見町歴史文化読本作成事業	.....	8
6 歴史を活かしたまちづくり推進事業	.....	9
7 案内ボランティア育成事業	.....	10
8 周遊性向上検討・案内板設置事業	.....	11
9 地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業	.....	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の維持・修理に関する取組	.....	13
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	.....	14
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組	.....	15
4 文化財の防災・防犯に関する取組	.....	16
5・6 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	.....	17~18
7 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	.....	19
8 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	.....	20
9 文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組	.....	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 内谷太々神楽を奉納等	.....	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	.....	23

<b>口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	24
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
計画の実現に向けた推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。

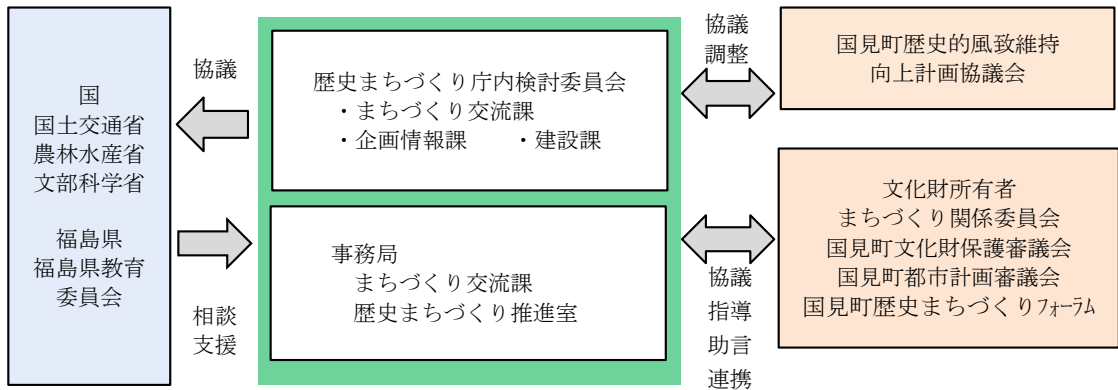
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第5回国見町歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、進捗管理に関する報告・協議を行った。また歴史まちづくり庁内検討委員会を開催し、事業の実施に係る調整、情報収集(主に阿津賀志山防塁整備事業に関する件)を行った。更には、国見町文化財保護審議会を開催し、取組に関する報告・意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくり計画の事業推進に向け、一層の情報共有と、目的の共有化を図ることが必要であり、連携を強化していく。
--	---

状況を示す写真や資料等



■計画の推進体制図

●令和元年度歴史まちづくり庁内検討委員会構成

企画情報課長	1名	総合政策室	1名
建設課長	1名	建設係	2名
まちづくり交流課長	1名	管理係	2名
		歴史まちづくり推進室	4名
		道の駅商工連携室	1名

●会議の状況

会議名称	開催年月日	概要
第5回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和元年5月22日	平成30年度進行管理評価等
第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和元年8月30日	歴史文化基本構想、歴史公園整備事業
第2回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和元年9月30日	阿津賀志山防塁歴史公園整備事業
第3回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和2年1月16日	歴史文化基本構想、歴史公園整備事業
第4回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和2年1月29日	歴史的風致維持向上計画中間評価
第5回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和2年3月27日	阿津賀志山防塁歴史公園整備事業
第1回国見町文化財保護審議会	令和2年1月27日	令和元年度実施状況、令和2年度事業計画

評価軸②-1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

【都市計画との連携】「県北都市計画区域」に指定され、都市計画との適切な連携を図ることで、良好な市街地と街並み景観が形成されていくよう誘導を図っていく。

【景観法との連携】「福島県景観計画」による景観計画区域に町全域が指定され、届出が必要な行為及び景観形成基準が定められ、一定規模以上の開発に対し良好な景観を形成するよう規制している。

【屋外広告物法との連携】「福島県屋外広告物条例」により、「良好な景観の形成」及び「歴史的風致の維持」などの観点から、町の美観や自然景観を損なわないような規制が定められている。

【阿津賀志山防塁保存管理計画】文化財保護法に即して策定された「阿津賀志山防塁保存管理計画」により、7つの管理基準に基づき、規制及び今後の保存方針が示され、適切な保存・管理が図られている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域を含む町内を規制している県北都市計画区域・福島県景観計画・福島県屋外広告物条例および、阿津賀志山防塁の規制と保存方針を示した同保存管理計画の規定に基づき、開発等の届出・申請が必要な行為に対し、助言や手続きを行った。

令和元年度実績

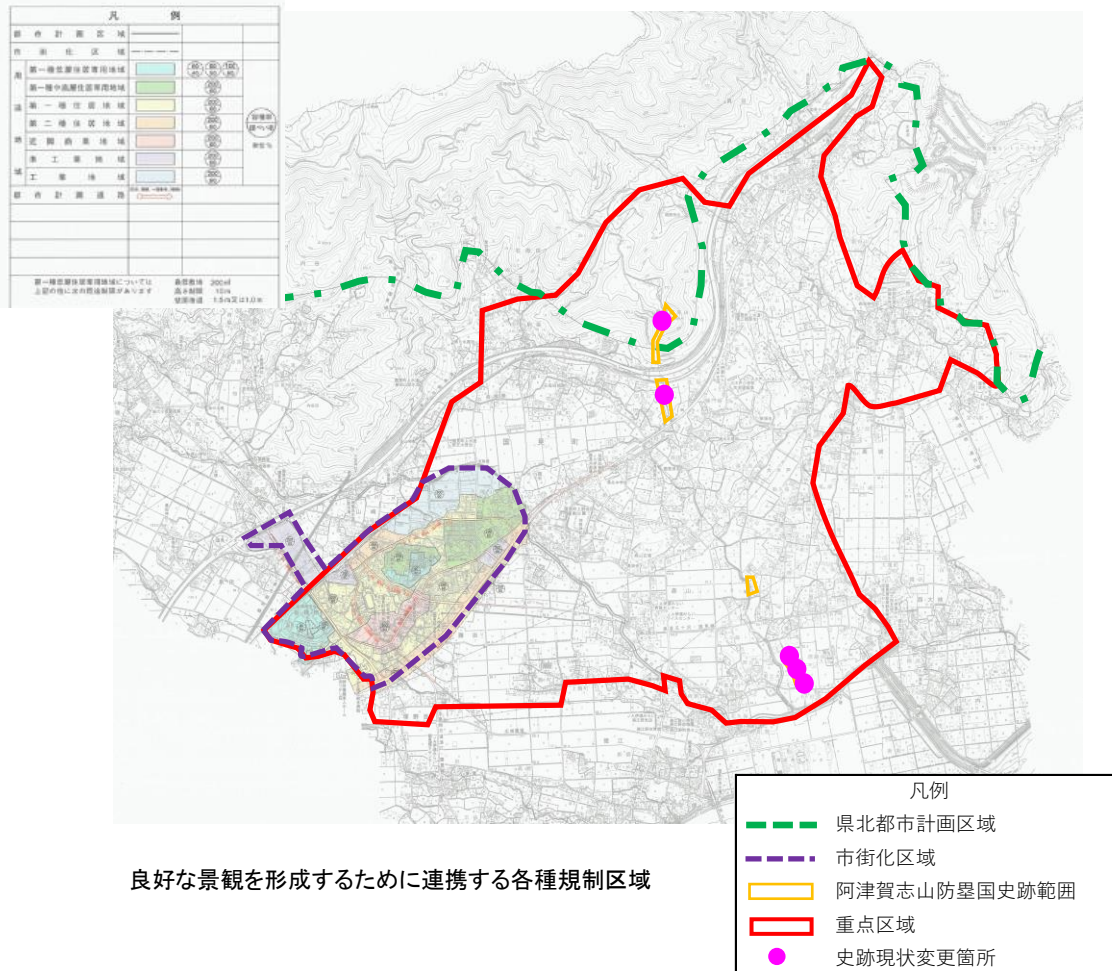
- ・福島県屋外広告物条例(特別規制区域・普通規制区域) 届出10件
- ・阿津賀志山防塁(国指定史跡範囲) 現状変更申請 5件 (※軽微な変更含む)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2  
重点区域における良好な景観を形成する施策

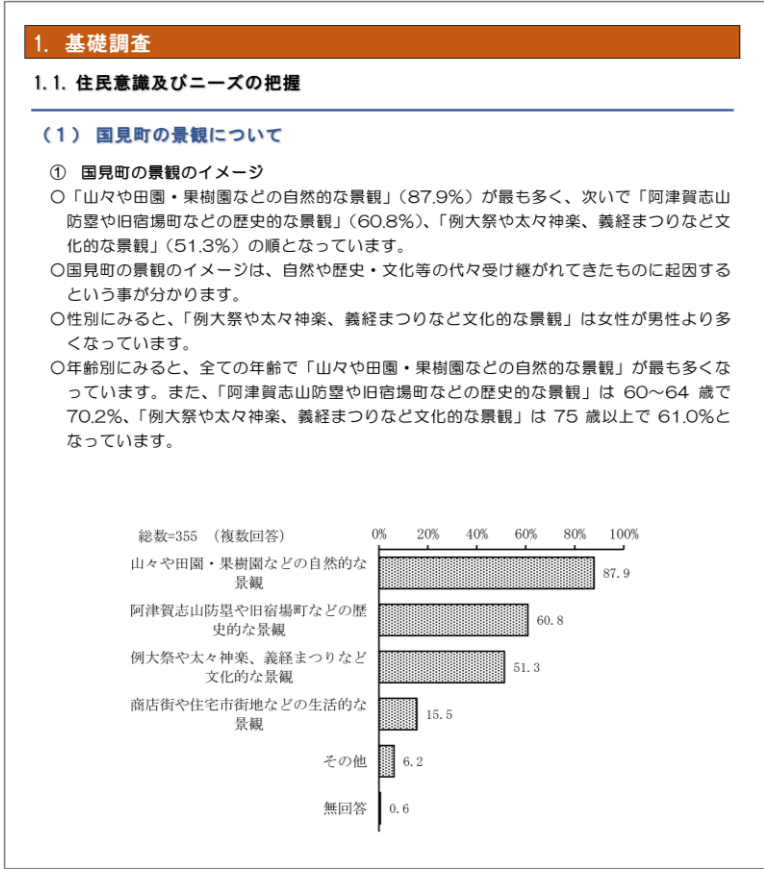
項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
景観計画策定に向けた取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本町には、奥羽山脈を西に擁し、雄大な山並みと阿武隈川の恵みを背景に美しい田園風景が広がる農村景観、および奥州街道・羽州街道沿いに形成された街道集落を中心とする歴史的景観、旧宿場町を母体とする都市景観など、多様で良好な景観が形成されている。歴史遺産とともに、雄大な山並みと一体となった景観を維持し、後世に継承するため、景観行政団体へ移行するとともに、景観法に基づく景観計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 地域に残る歴史や文化、自然を守り、活かしながら、周辺の景観と調和した良好なまち並み・景観の形成を図るため、景観行政団体として取り組むべき景観施策を明らかにした上で、今後の国見町における景観づくりの方針等を示した景観計画を平成30年度より3か年かけて策定している。  
 令和元年度実績  
 ・町民アンケート「国見町の景観まちづくりに向けて」の成果を基に、住民意識・ニーズの把握及び景観特性の分析・課題の整理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



町民アンケート「国見町の景観まちづくりに向けて」調査結果(一部)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
阿津賀志山防塁史跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業、史跡等買い上げ事業

計画に記載している内容 史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要となる情報を得る為の、史跡内容確認調査を行うとともに、堀・土塁などの復原整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①【国道4号北側地区】5筆(2,062㎡)の公有地化
- ②【下二重堀地区】3筆(1,098㎡)の公有地化
- ③【下二重堀地区】遺構内容確認を目的とした第24次発掘調査(令和元年6月20日～令和元年7月19日:A=52㎡)
- ④【下二重堀地区】雨水排水設備工事(令和元年7月1日～令和元11月29日:暗渠埋設L=268m)
- ⑤第24次調査成果および雨水排水設備工事、歴史公園整備事業に関わる協議のため調査・整備指導委員会を開催(令和元年7月12日、令和元年10月23日)
- ⑥【下二重堀地区】2筆(751.03)国史跡追加指定(令和2年3月10日指定)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



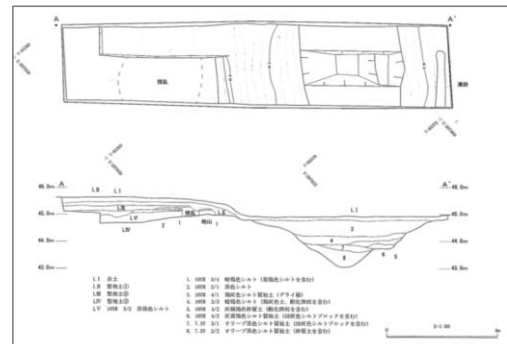
下二重堀地区実施設計範囲・発掘調査区



調査・整備指導委員会視察(第24次調査調査)



下二重堀地区雨水排水設備整備(工事後)



令和元年度調査トレンチセクション図・平面図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 阿津賀志山防塁の保存状態が良好な箇所は、傾斜地や農地に分散しアクセス道の整備が行き届いていない。車幅が不十分な町道はバス等の進入が困難であるため、町道改修を行う。

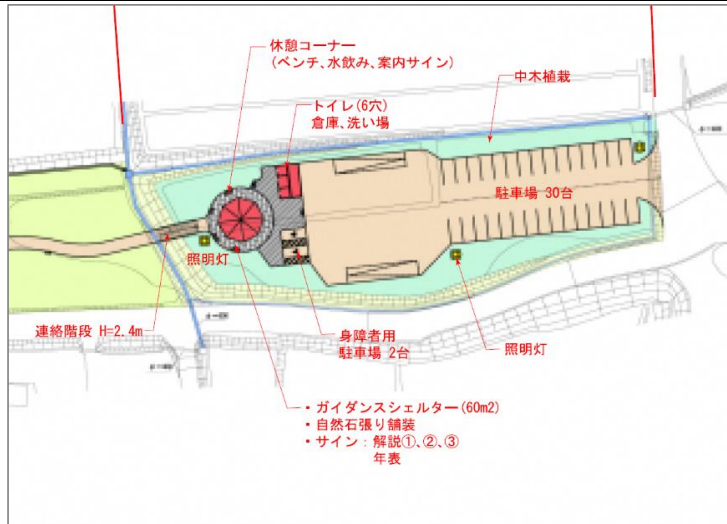
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①【下二重堀地区】阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備造成工事を発注し、バスの駐車、転回を可能とする駐車場の整備に着手した。2か年に渡る工事であり、令和2年度中に完成予定。現道を生かした駐車場整備とそれに伴う町道改良によりアクセス性の向上を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園 全体計画平面図(駐車場部分)



歴史公園(駐車場)整備予定地 ※令和元年用地取得済

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
阿津賀志山防塁歴史公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 下二重堀地区と国道4号北側地区の周辺に園地整備を行う  
下二重堀地区周辺においては、駐車場・遊歩道の整備を行い阿津賀志山と中尊寺蓮池を一体的に周遊できるよう整備、またガイダンス広場を設置し歴史認識を深めるよう整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①くみに阿津賀志山防塁活用推進懇談会による2019蓮まつりの開催支援(令和元年8月11日)
- ②くみに阿津賀志山防塁活用推進懇談会によるワークショップの開催支援(令和元年8月31日)
- ③阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園用地取得(13筆:17,256㎡)
- ④阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園造成工事(令和2年3月18日～令和2年11月30日)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	住民への丁寧な説明と住民参画による活用への取り組み
--	---------------------------

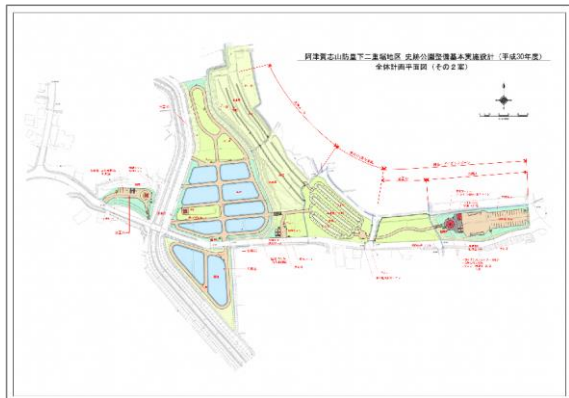
状況を示す写真や資料等



くみに阿津賀志山防塁活用懇談会  
くみに蓮まつり2019(8月11日)



くみに阿津賀志山防塁活用懇談会  
ワークショップ(8月31日)



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園  
全体計画平面図



歴史公園(蓮池)整備予定地  
※令和元年用地取得済

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度								
項目		現在の状況									
無形民俗文化財活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手									
事業期間	平成27年度～令和6年度										
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業										
計画に記載している内容	祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく取り組みに対して支援を行う。										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で											
①町指定無形民俗文化財の保護団体である2団体に対し、文化財保護育成にかかる活動について助成(国見町社会教育関係団体補助金)を行った。 ②子どもへの継承を図る子ども太々神楽教室を支援し、15人の生徒が7回の練習と1回の発表を行った。											
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)										
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない											
状況を示す写真や資料等											
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div> <p>■子ども太々神楽教室                  明治時代より伝わる内容春日神社太々神楽を後世に伝えるため、9月から11月にかけて7回の練習が行われ、11月に開催された伝統文化親子フェスタにて発表された。</p> <p>■無形民俗文化財支援</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内容春日神社太々神楽保存会への支援</td> <td>助成金(町単独)</td> </tr> <tr> <td>国見伝統文化保存会への支援</td> <td>助成金(町単独)、フォトコンテスト支援</td> </tr> <tr> <td>子ども太々神楽教室</td> <td>国見町子ども太々神楽教室育成会事業に対する支援</td> </tr> </tbody> </table>				タイトル	概要	内容春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)	国見伝統文化保存会への支援	助成金(町単独)、フォトコンテスト支援	子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室育成会事業に対する支援
タイトル	概要										
内容春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)										
国見伝統文化保存会への支援	助成金(町単独)、フォトコンテスト支援										
子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室育成会事業に対する支援										



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
国見町歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和6年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 阿津賀志山の合戦、鹿島神社の例大祭など各地の歴史や史跡・建造物と人々の活動をそれぞれのテーマ毎に調査成果をまとめ、「歴史文化読本」(仮称)を作成する。また小中学校の授業とも連携し『国見学』を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度において町の文化財や人々の活動等の周知啓発を図るため、歴史や文化財を網羅し小中学生や来町者に分かりやすく、歴史めぐりができる「くにもみ歴史本」を4000部作成した。  
今年度においては町内の小学生に対し配布を行い、小学校の歴史学習やジュニア応援団における研修についての資料として活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

～国見町の歴史、文化を探る～

くにもみ歴史本

れきしほん

国見町

くにもみ歴史本  
～国見町の歴史、文化を探る～

目次

第1章 国見の歴史 一通り編

原 始 (白石遺跡時代・縄文時代・弥生時代) …… 8  
 古 代 (古墳時代・飛鳥時代・平安時代) …… 12  
 中 世 (鎌倉・南北朝・室町・戦国・安土桃山) …… 16  
 近 世 (戦国・安土桃山・江戸) …… 18  
 寛 政 (明治・大正・昭和) …… 22  
 昭 和 (昭和・平成) …… 24  
 国見町の歴史変遷・年表 …… 28  
 小学校のあゆみ …… 30  
 ～未来へ向かって～ …… 32

第2章 くにもみからもの

[エリア]

阿津賀志山の歴史エリア  
 島の歴史をさえる長大な要塞…34  
 阿津賀志山の防壁の構造…35  
 白旗に至るまで…36 奥州の戦最大の激戦地となる…38  
 伊藤氏による支配の始まり…39  
 防壁と関連文化財群を巡ってみよう…40  
 旧奥州街道エリア  
 旧奥州街道藤田宿…45  
 旧奥州街道藤田宿の見どころ…46  
 旧奥州街道貝田宿…49 旧貝田宿の名残…51  
 近代の跡遺産群…52 貝田口留番所跡…53  
 新藤原社と水宮神社…53  
 旧奥州道中国見峠長坂跡…54  
 旧羽州街道エリア  
 旧羽州街道小坂宿…57  
 旧羽州街道小坂宿跡…58 伊達成宗墓…58  
 龍源寺地蔵庵観音堂…59 旧小坂村産業組合石蔵…60  
 深山神社の大権大藤…61 半田磯山二階平坑跡…61  
 光徳行エリア  
 龍慶神社湧水と光明寺集落の水利用…63 御慶神社…65  
 三原院…66 福間寺と伊達朝宗夫人墓…66

[ア・マ]

民俗芸能  
 1. 内合巻日神社と太々神楽…68  
 2. 祭社の準備・祭楽奉納…69  
 3. 太々神楽の継承…70

祭 礼  
 1. 鹿島神社と例大祭…72 2. 例大祭の準備…73  
 3. 前夜祭・例大祭…73 4. 町内の祭り…76

産 業  
 1. 国見町の産業…78 2. 石蔵と石工技術…82  
 国見町指定等文化財一覧…86

「くにもみ歴史本」表紙、目次



国見小学校郷土学習



国見ジュニア応援団研修

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史を活かしたまちづくり推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業		
計画に記載している内容	歴史を活かしたまちづくりや地域住民のまちづくり参加への意識醸成及びまちの魅力の再発見が重要かつ必要であり、住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点をもったシンポジウム・ワークショップを開催した。 ①第11回歴史まちづくりシンポジウム「女子大生が教える国見石と旧小坂村産業組合石蔵のミドコロ」 「東京の片田舎で一地元石材伊奈石とジオ資源を活用した観光町おこし」(「石工(ロック)フェスin石蔵2019」にて、300名来場)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



長田研究室の学生2名による講演  
 「女子大生が教える国見石と旧小坂村産業組合石蔵のミドコロ」  
 スタッフとして郡山女子大生48名が参加



伊奈石の会代表内山孝男氏による講演  
 「東京の片田舎で一地元石材伊奈石とジオ資源を活用した観光町おこし」

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
案内ボランティア育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語るができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財が所在し、現地での案内ガイドがセットになることで、魅力・価値が高まる。案内ガイドを担うボランティアガイドの育成を図った。現在案内ガイド「国見町文化財ボランティア」は18名が登録。基礎研修として研修会1回、養成講座1回、くにみ案内人養成講座3回、合同開催1回の計6回実施し、のべ56名参加。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

ガイドの資質向上と、多くの来町者への対応力育成を継続的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



国見町文化財ボランティア登録証交付・研修会(7月25日)「道の駅国見あつかしの郷」を視察



くにみ案内人養成講座(9月28日)



くにみ案内人養成講座10月22日  
町内案内実践



国見町文化財ボランティア・国見町文化財ボランティア養成講座・くにみ案内人養成講座 合同見学研修会1月22日

評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
周遊性向上検討・案内板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和3年度

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業、福島県観光力づくり支援事業

計画に記載している内容 来町する観光客が、本町の点在する文化財を効率よく、かつ楽しみながら観光できるより良いルートを検討し、周遊案内板の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道の駅・JR藤田駅等を拠点とした周遊ルートの実践的検討を目的とした周遊観光ツアーなどを実施。町の歴史をはじめとした豊富な観光資源の周知啓発につながった。  
 ①くにみ夏のご案内week♪:道の駅を拠点とし、土日を中心に2週にわたり夏のくにみの見どころを案内した。  
 ②くにみ周遊ツアー:夏・秋3日、計6回開催した。  
 ③町内歴史散策ツアー:町イベントやJR東日本と連携し、町内の歴史を散策するツアーを開催した(計3回)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【夏のくにみご案内week♪】  
8/3(土)～8/11(日)道の駅特別ブースでの案内



【夏のくにみ周遊ツアー】  
8/1(木)中尊寺ハスと光明寺集落めぐり&桃狩り体験



【町内歴史散策ツアー】  
9/23(月)旧奥州街道藤田宿ぶらりまち歩きツアー



【秋のくにみ周遊ツアー】  
11/8(金)国見町史跡等めぐり&あんぽ柿加工体験

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和元年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 本町における多様な文化遺産の総合的な把握に向けて調査を行う。基礎的な調査・研究により情報の蓄積を行い、「歴史文化基本構想」の策定に向けた取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史文化基本構想策定に向けた、祭礼調査事業、町内歴史文化の基礎的調査を実施。  
 ①祭礼調査は、町内に約40の神社があり、春と秋の祭礼について調査・記録を行った。  
 ②基礎的調査は、歴史文化基本構想策定に向け、個人や団体等への聞き取り調査を実施した。  
 ③以上の基礎調査も踏まえ、国見町歴史文化基本構想策定委員会を2回開催した。国見町歴史文化基本構想を令和2年3月2日に策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■祭礼調査

タイトル	年月日	概要
御滝神社滝普請(光明寺地区)	平成31年4月7日	滝普請調査(記録撮影・聞き取り)
春日神社例大祭(内谷地区)	平成31年4月21日	例大祭、太々神楽(記録撮影・聞き取り)

■歴史文化資源に関する聞き取り調査実績

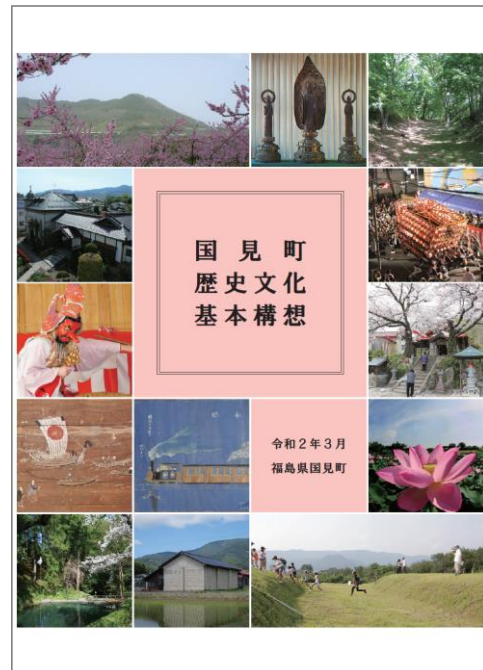
日程	内容	場所	対象文化財等
7月1日	農耕儀礼調査	個人宅	さなぶり
12月11日	記念物・名勝地調査	国道四号橋梁下	滝川甌穴



農耕儀礼調査(さなぶり)



記念物・名勝地調査(滝川甌穴)



国見町歴史文化基本構想

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の維持・修理に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①国史跡「阿津賀志山防塁」ほか町史跡等における草刈 10か所 ②福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 3回実施 ③文化財パトロールの実施(強風による倒木の伐採及び整備) ④町指定岩淵遺跡竪穴住居跡の屋根修繕を実施。 ⑤旧佐藤家住宅修繕事業 平成29年4月の強風により被災した「旧佐藤家住宅」の修繕事業2年目。屋根の葺き替え作業を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



阿津賀志山防塁山頂部への登坂道パトロール  
(強風による倒木確認・処理)



岩淵遺跡竪穴住居跡屋根修繕  
(屋根の傷んだ部分の修繕)



「旧佐藤家住宅」(屋根葺き替え作業実施)



旧佐藤家住宅屋根葺き替え工法見学会

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本町は、国見町観月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関しての機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国見町文化財センター「あつかし歴史館」の施設機能向上とともに、利用者が足を運びやすい企画・展示をタイムリーに実施することで、町の文化財に対する理解を深めてもらうきっかけとした。 ・季節・年中行事を取り込んだ部分展示を実施。 ・展示内容の充実を図り町の歴史理解を深める展示を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



あつかし歴史館展示室部分展示  
(端午の節句飾り)



あつかし歴史館  
(歴史館改修前の小学校関連閲覧資料の設置)



あつかし歴史館  
(町内の出来事を古写真で振り返る展示)



あつかし歴史館  
(地元郷土史家の研究成果閲覧資料の設置)

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項	
項目	評価対象年度 令和元年度 現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
①阿津賀志山防塁国道4号北側地区および下二重堀地区において、史跡買上げ事業が実施されたことにより、景観の阻害となっていた樹木の一部が取り除かれ、景観の改善が図られた。	
進捗状況 ※計画年次との対応 <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
状況を示す写真や資料等	
 <p style="text-align: center;">施工前</p>	 <p style="text-align: center;">施工後</p>
阿津賀志山防塁史跡買上げ事業実施箇所(国道4号北側地区) (福島県伊達郡国見町大字大木戸字阿津賀志山一丁目80(北から))	
 <p style="text-align: center;">施工前</p>	 <p style="text-align: center;">施工後</p>
阿津賀志山防塁史跡買上げ事業実施箇所(下二重堀地区) (福島県伊達郡国見町大字西大枝字下二重堀26番1(北から))	



評価軸④-4  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
----	--------	----------------

文化財の防災・防犯に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

計画に記載している内容  
火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①防火に対する取組
  - ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所で実施(1月26日)
  - ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知する広報実施
  - ・伊達地方消防組合による立入調査の実施(11月20日旧佐藤家住宅・・・不備欠陥なし)
- ②防犯に対する取組
  - ・文化財ボランティア等と連携し、パトロールの実施(9月7日、10月22日)

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



消防訓練の様子 県重文「旧佐藤家住宅」

**お知らせ** 1月26日は「文化財防火デー」です！

昭和24年1月26日、法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂から出火し、飛鳥時代を代表する貴重な壁画が焼損してしまいました。このことをきっかけに昭和25年に文化財保護法が制定され、昭和30年に「文化財防火デー」が定められました。以来、この日を中心に全国各地で文化財防火運動が展開されています。

昨年は、4月のフランスのノートルダム大聖堂での火災及び10月の沖縄県那覇市の首里城での火災が発生するなど、貴重な文化財が火災により焼失や傷つけられる事例が残念ながら見られ、引き続きの取り組みが必要です。町の宝である文化財を100年、200年先の未来に伝えていくために、町民のみならずには、文化財を管理する方々とともに、文化財保護への協力をお願いします。

【福島県教育委員会・国見町教育委員会】

**【文化財防火デーによる消防訓練の実施】**  
見町消防団におきましても地区ごとに放水訓練などを実施しますので、お知らせします。

**■実施日**  
1月26日(日)

**■場所**  
 小坂地区：子守地蔵尊 (午後1時～)  
 藤田地区：旧佐藤家住宅 (午後1時30分～)  
 森江野地区：神明神社 (午後2時～)  
 大枝地区：深山神社 (午後2時30分～)  
 大木戸地区：国見神社 (午後3時～)

☎環境防災課環境防災係 ☎585-2116

町広報紙(お知らせ版)による周知



文化財パトロール(9月7日)



文化財パトロール(10月22日)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対しての普及・啓発を広く図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建造物等の公開、学校教育との連携、歴史講座・まちあるき、祭礼との連携活動、文化財の案内ガイドなどを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



総合学習での国見学の取り込み  
国見小学校6年生史跡探検隊



秋の周遊ツアー

■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
あつかし歴史館イベント	令和元年5月から11月	歴史と年中行事にまつわるイベント 3回延べ約600人 ※11月4日あつかしまつりにおいて高城国見神社例大祭と連携。(神楽・山車の立ち寄り、公開)
石工(ロック)フェスin石蔵 2019	令和元年9月16日	旧小坂村産業組合石蔵で体験型イベント300人
奥山家一般公開(義経まつり)	令和元年9月23日	奥山家住宅洋館を一般公開 622人来館
藤田宿まちあるき(義経まつり)	令和元年9月23日	旧奥州街道藤田宿ぶらりまち歩きツアー 28人
総合学習での国見学の取り込み	令和元年10月1日	国見小学校6年生史跡探検隊 65人
くにみ周遊ツアー	令和元年8月1日・2日、11月8日・9日	町内周遊ツアーの実施 4日間計8回 110人
道の駅あつかしの郷から巡る 夏のご案内Week	令和元年8月3日、4日、10日、11日	道の駅特別ブースで案内対応 計4日間 約400人
文化財ボランティア案内件数	令和元年度	32件1,709人
総合学習での国見学の取り込み	令和2年2月21日	国見小学校3年生 太々神楽体験学習 50人

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 本町にある多くの文化財や歴史的遺産は町の成り立ちに大きく関わっている「国見のたからもの」であり、意識が醸成される過程で自らの町の歴史性や風土、この地に伝わる伝統や人々の共同体としての意識が培われていき保存・継承活動に対する理解も深まる。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
町民にとって身近な町の広報紙「広報くにみ」で町内の歴史的、文化的に貴重な「国見のたからもの」を募集・紹介。写真とその解説を毎号12回掲載した。(平成26年6月から令和元年9月まで全64回) また、「歴まちさんぽ」と題して、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組についても毎号掲載した。(平成29年7月から33回)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

**国見のたからもの No.60**

徳江寺跡の出土瓦(大字徳江字田前)

徳江寺跡は明治時代から古瓦の出土地として知られ、昭和40～50年代には小規模な発掘調査も行われています。表層や発掘で得られた瓦は奈良～平安時代の遺物で、六弁と八弁の蓮華文軒瓦(①・②)、蓮田文軒瓦(③)、蓮井蓮華文軒瓦(④)などが見られます。①・②は徳夫郡定額寺西原寺跡、③は徳夫郡新付寺跡(徳江寺跡)、④は陸奥国約多賀城跡・陸奥国分寺跡と同じ模様の軒瓦であることから徳江寺跡が徳夫郡北部地域において極めて有力な寺院であったことがわかります。

【問い合わせ】歴史まちづくり推進室 ☎585-2967

**国見のたからもの No.64 (最終回)**

町指定有形文化財(建造物) 貝田前平(旧鉄道レンガ橋(大字貝田字寺前境内))

明治20年(1887年)12月、上野～盛岡間-鉄道が開通しました。これに伴い貝田集落の真ん中を流れる姥神沢川に建設された鉄道レンガ橋は、川底から線路まで5.8m、アーチ高さは4.8m、幅2.4mと非常に美しいV字型で、イギリス製のS.L.が赤レンガ橋の上を走る姿に、当時の住民は大いに驚いたといわれています。

明治41年(1908年)、震災復興事業の計画により54坪中28戸焼失という大震災が発生し、住民の要請により大正6年(1917年)、現在の築石橋の姿を再現し増設が行われました。

明治からわずか30年でレンガ橋の建造としての使命は終了しましたが、近代化遺産として今も注目されています。

※「国見のたからもの」は今年で最終回となります。長い間、お読みいただきありがとうございました。

【問い合わせ】歴史まちづくり推進室 ☎585-2967

**歴史まちづくり**

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組についても毎号掲載した。(平成29年7月から33回)

【歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】  
【あつち1.歴史室 ☎585-4530】

**石工フェス in 石蔵 2019を開催しました!**

石工フェス in 石蔵 2019が9月16日、国見町有形文化財の旧小坂村健康組合石蔵(「Aふくしま未来小坂支店」)で行われました。

この事業は町と協賛した大学人間生活学科学部デザインコースが共催し、今年で4回目となります。思いどくの間催されたが、町外から約300人が参加し、今回は石蔵アロマキャンドル作り体験や木工作り体験、八百半作り体験などの新しい企画が加わり、それぞれのブースは人だかりでした。

また、学生による国見石のミニコンクリートの、奥平郡あきる野市「伊奈石の会」の伊奈勇男氏が伊奈石を石蔵に活用したまちづくりについて講演しました。

県には、毎年恒例の国見石の祭で採れたじりや同類石の祭で採れたじり石に加えて、藤巻町産の国見石の祭のふるまいもありました。参加者からは、「かまどで採れたじり石は特別!」「国見石はコシがあっておいしい!」などの声がありました。

「国見石の保存と活用」テーマに開催した石工フェス。町内には約500種類の石蔵が現存し、貴重な町民のたからものです。

みなさんも国見石や石蔵の活用について考えてみてください。

**奥山家住宅洋館一般公開 & 旧奥州街道藤田宿ぶらりまち歩きツアー**

9月23日に行われたぶらりまちでは、国見町有形文化財の奥山家住宅の洋館を一般公開しました。約30人が案内ガイドとともに旧奥州街道を30分程歩いて回り、奥池に隣る遊歩道の散策や、町内に多く現存する国見石の石蔵などについて学び、遊歩道を歩きました。

また、奥州街道旧奥州宿の「まち歩きツアー」も、同時開催しました。約30人が案内ガイドとともに旧奥州街道を30分程歩いて回り、奥池に隣る遊歩道の散策や、町内に多く現存する国見石の石蔵などについて学び、遊歩道を歩きました。

国見石の活用について考えてみてください。

【問い合わせ】歴史まちづくり推進室 ☎585-2967

「広報くにみ くにみのたからもの」

「広報くにみ 歴まちさんぽ」

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取扱いに関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、137ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開発計画および史跡整備に伴う発掘調査を1件実施した。このほか開発に伴う試掘調査などを実施した。 【開発等に伴う発掘調査実施遺跡】長障子遺跡(平成29・30年度に実施した発掘調査の報告書を作成し刊行) 【史跡整備に伴う発掘調査】・阿津賀志山防塁 1件 【開発に伴う試掘調査】・徳江館跡 1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



阿津賀志山防塁・長障子遺跡の発掘調査報告書刊行



史跡整備に伴う阿津賀志山防塁の発掘調査1



史跡整備に伴う阿津賀志山防塁の発掘調査2



開発に伴う試掘調査(徳江館跡)

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町には、文化財の調査・発信をしている団体や、無形の民俗文化財を保護するために活動している団体等、多種多様な活動を展開している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【町内民間団体】

- 国見町郷土史研究会による講演会、方部研修会、展示会の開催  
文化祭展示(11月)  
11月24日 森江野方部研修会・フィールドワーク(五郎市神社、塚野目第1号墳、錦木塚古墳、塚野目城跡) 65人参加
- 内谷春日神社太々神楽保存会・国見町子ども太々神楽教室育成会  
伝統文化親子フェスタにおける神楽公演(11月24日)および各イベントでの公演  
子ども太々神楽教室の開催
- 国見町中尊寺蓮育成会による中尊寺蓮の育成  
8月31日 講演会「歴史と蓮で地域を盛り上げる講演会＆ワークショップ」 60人参加  
※くのみ阿津賀志山防塁活用推進懇談会との共催
- 9月 絵画コンクールの開催 179名からの応募
- 国見町伝統文化保存会による鹿島神社例大祭フォトコンテスト実施 20点応募
- 大木戸歴史むらづくりの会との連携  
5月～11月 あつかし歴史館イベント 計3回、来場者のべ約600名
- くのみ阿津賀志山防塁活用推進懇談会  
8月11日に蓮まつりを開催。

【町外団体】

- JR東日本による「JR小さな旅」の開催 3回開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



郷土史研究会方部研修会



鹿島神社例大祭フォトコンテスト



中尊寺蓮絵画コンクール



あつかし歴史館×大木戸歴史むらづくりの会  
「あつかしまつり」※高城国見神社祭礼渡御

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町の文化財を保存・活用していくためには、本町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【主催事業】

- 国見小学校 郷土学習(史跡探検)
- 公民館事業 国見ジュニア応援団(史跡巡り)
- 福島大学 域学連携事業(内谷集落活性化)
- 郡山女子大学 石エフェス2019

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



国見小学校「郷土学習」



国見ジュニア応援団「史跡巡り」



福島大学域学連携事業「天空カフェ」



郡山女子大学「石エフェス」

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和元年度 掲載紙等
内谷太々神楽を奉納(内谷春日神社太々神楽)	平成31年4月28日	福島民報
端午の節句親子で満喫(あつかし歴史館)	令和元年5月6日	福島民報・民友
来館者1万人達成(あつかし歴史館)	令和元年5月21日	福島民報
旧佐藤家住宅の屋根葺き替え工事完成披露式(県指定文化財)	令和元年9月1日	福島民報
「国見石」の歴史知って(国見石)	令和元年9月17日	毎日新聞
阿津賀志山防塁の一部国史跡追加へ(阿津賀志山防塁)	令和元年9月11月16日	福島民報・民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくりに関わる取り組みを積極的に報道機関へ情報提供し、発信が図れた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

- 文化財センターに関する記事
  - ・大木戸歴史むらづくり会との連携企画 あつかし歴史館にて端午の節句イベント開催(令和元年5月6日 福島民報)
  - ・あつかし歴史館来館者1万人達成(令和元年5月21日 福島民報)
  - ・大木戸歴史むらづくり会との連携企画 あつかし歴史館にて「あつかしまつり」開催(令和元年11月6日 福島民友)
- 祭礼・イベントに関する記事
  - ・内谷太々神楽を奉納(平成31年4月28日 福島民報)
  - ・「国見石」の歴史知って 石工フェスに200人(令和元年9月17日 毎日新聞)
- 講演会・シンポジウムに関する記事
  - ・国見石の魅力に触れて 国見石の講演 石工フェス(令和元年9月2日 福島民報)
- 阿津賀志山防塁に関する記事
  - ・国史跡に一部追加(令和元年11月16日 福島民報・福島民友)
  - ・陸奥もう一つの入り口(令和元年11月25日 福島民友)



あつかし歴史館端午の節句イベント  
(令和元年5月6日記事掲載)



あつかし歴史館来場者1万人  
(令和元年5月21日記事掲載)



「石工フェス」にて石蔵模型解説  
(令和元年9月17日記事掲載)



「旧佐藤家住宅」(屋根葺き替え完成披露式)  
(令和元年9月1日記事掲載)

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目

文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等については、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和元年9月、義経まつりでの奥山家住宅一般公開は、来館者総数622名と昨年度より17%減となった。令和元年度文化財ボランティア利用者延べ人数及び利用団体数は1,709名、32団体の利用で前年度と比較すると減少しているが、要因としては、10月の台風および新型コロナウイルス感染拡大予防のため、活動が中止されたことが考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	案内ガイドの健康安全に配慮した活動

状況を示す写真や資料等

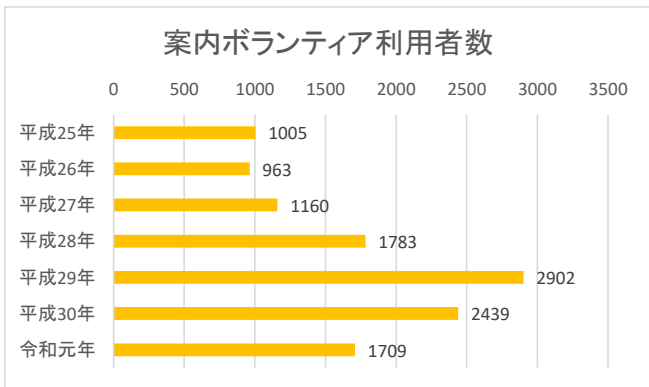
■国登録有形文化財 奥山家住宅洋館・主屋の一般公開

	来館者	うち町外者数(割合)
平成26年9月23日 義経まつり	440名	290名(65%)
平成27年9月20日 義経まつり	652名	529名(81%)
平成28年3月5日 奥州街道フードフェスタ	651名	365名(56%)
平成28年9月22日 義経まつり	722名	459名(63%)
平成29年3月5日 奥州街道フードフェスタ	693名	485名(70%)
平成29年9月22日 義経まつり	713名	492名(72%)
平成30年3月4日 奥州街道フードフェスタ	695名	491名(71%)
平成30年9月23日 義経まつり	746名	567名(79%)
令和元年9月23日 義経まつり	622名	500名(80%)



■国見町文化財ボランティアの利用実績

年度	利用者延べ人数	団体利用延べ人数
平成25年	1,005人	14団体
平成26年	963人	13団体
平成27年	1,160人	34団体
平成28年	1,783人	48団体
平成29年	2,902人	70団体
平成30年	2,439人	48団体
令和元年	1,709人	32団体





法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第6回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和2年6月1日～令和2年6月12日(書面評決)	
(コメントの概要)	
①進捗管理・評価シートについて、評価指標をつくり効果を明確にしてほしい。	
②平成27年から調査、記録、検討、編集された国見町歴史文化基本構想が策定できたことは、町の宝として今後も利用、活用されたい。「くにみ歴史本」の活用を期待する。	
③いずれも計画により進んでいることに感謝する。なお、7の「定性的、定量的～」の①保存団体は保護団体が適切と思う。	
④着実かつ意欲的に事業を展開しており評価される。	
⑤適切に進行管理・評価を実施している。	
(今後の対応方針)	
①現在策定中の第6次国見町総合計画の検討と併せ、各個別の項目について適切な評価指標が設定可能か検討していく。	
②本構想を文化財行政のマスタープランとして、歴史や文化を活かしたまちづくりを進めていく。また、国見学を深めるため、くにみ歴史本の活用を推進する。	
③ご指摘のとおり訂正する。	